

年金しんぶん第 386 号 (2022 年 2 月 15 日号) 掲載の「年金者 何でも相談」

Q 私 は 2 級 の 障 害 基 礎 年 金 を 受 給 し て い ま す 。 今 は 会 社 勤 め を し て い ま す が 、 近 く や め る 予 定 で す 。 そ の 場 合 、 国 民 年 金 に 加 入 す る よ う に な る の で す が 、 保 険 料 は 月 額 1 万 6 6 1 0 円 (2 0 2 1 年 度 額) と 高 い と 聞 い て い ま す 。 免 除 に な ら な い の で し ょ う か 。

A 免 除 に な り ま す 。 法 定 免 除 と 言 っ て 障 害 基 礎 年 金 、 1 ・ 2 級 の 障 害 厚 生 年 金 、 1 ・ 2 級 の 障 害 共 済 年 金 な ど を 受 給 し て い る 人 や 生 活 保 護 法 に よ る 生 活 扶 助 を 受 け て い る 方 は 保 険 料 が 全 額 免 除 さ れ ま す 。

手 続 き は あ な た が 会 社 を や め た 時 、 国 民 年 金 の 資 格 取 得 の 届 出 と 法 定 免 除 に 該 当 す る 届 出 を 年 金 事 務 所 に 提 出 す る こ と に よ っ て 行 い ま す 。 (国 民 年 金 被 保 険 者 関 係 届 書)

な お 、 全 額 免 除 期 間 の 老 齢 基 礎 年 金 額 は 保 険 料 納 付 期 間 の 半 分 に な っ て し ま う た め 、 現 在 法 定 免 除 に 該 当 し て い る 方 で も 、 将 来 障 害 が 軽 快 し 障 害 基 礎 年 金 が 支 給 停 止 に な り 老 齢 基 礎 年 金 を 受 給 す る こ と に な る 場 合 に 備 え て 、 保 険 料 を 納 付 す る こ と も 可 能 で す 。

Q 私 の 場 合 、 老 齢 厚 生 年 金 の 支 給 開 始 は 6 5 歳 だ と 聞 い て い ま す 。 障 害 基 礎 年 金 と 老 齢 厚 生 年 金 は 同 時 に 受 給 す る こ と が で き る の で し ょ う か 。

A 6 5 歳 前 は 特 別 支 給 の 老 齢 厚 生 年 金 と 障 害 基 礎 年 金 は ど ち ら か 一 つ を 選 択 し 、 併 給 さ れ る こ と は あ り ま せ ン 。 し か し 、 6 5 歳 以 降 は 老 齢 厚 生 年 金 と 障 害 基 礎 年 金 と を 同 時 に 受 給 す る こ と が 可 能 に な り ま し た 。

年 金 相 談 室 小 林 善 雄